

塾長の独り言 NO158 H24 .2 .5

「AKB48の人気の秘密は何か？」

2月3日、金曜日、AKB48の映画を観に行ってきました。

「DOCUMENTARY of AKB48 Show must go on 少女たちは傷つきながら 夢を見る」

恥ずかしいので、平日朝9時55分開始で12時05分終了の一番観客が少なく、目立たない時間帯を考えて潜入してきました。(あはは)

コンサルタントとしてどうしてヒットしているのか？と研究するより

一ファンとして見ようと心掛けたのですが…。

一言で言って、あまり内容がある映画(ドキュメンタリー)ではありません。

AKBのメンバーたちの、それぞれの物語、ドラマになっていますが…中途半端ですね。

しかし、表の舞台とは違って、見えない舞台裏では、ものすごく熾烈な切磋琢磨している戦いがある。彼女らは、それぞれが必死に一生懸命努力している。

お互いに磨き合っている。

良きライバルであり、良き仲間、同期でもあり、目的共有する同志でもあるのですね。

あっちゃん(前田敦子)、ゆうこ(大島優子)、たかみな(高橋みなみ)が舞台裏では過呼吸で酸素吸入してぶっ倒れているのですが、本番の舞台に出た時には何もなかったようにピシッと歌い踊っている姿には、プロフェッショナルの姿に感動を覚えました。

さすが、プロだ！

プロフェッショナルとは責任から逃げない！

そんな言葉を思い出しました。

題名では、「少女たちは傷つきながら 夢を見る」

傷つき、挫折することによって、彼女らは成長していった！

今回のAKBの映画を見て、感じたことは…「競争」することは悪いことではない！

彼女らは総選挙、じゃんけん大会など、仕組みで仕方なく競争させられています。

又、年齢と共に卒業という無言のプレッシャー

次から次に新しい研究生が入ってくる下からのプレッシャー

下剋上の世界にいる訳ですから、本当に大変です。

必死に戦っているのです。

(仲間とも、自分自身とも…)

傷つくこと、競争することによって、彼女らは成長し、磨かれているのだな！

と感じた次第です。

将来、彼女らがAKB48から卒業してから、どんな道を歩んでいくのか？

それを見守るのも楽しみになりました。

<コメント>

一生懸命な姿には感動を覚える！

本気さを感じた時、人間の自然に起きる現象として応援したくなる！

その為には、競争の世界が必要だ。

切磋琢磨する仲間が必要なことだと感じます。